



謹賀新年

手作りのたこに夢のせて(木樨公民館・子どもクラフト教室)

飛躍への礎の年に

市議会議長 梅原文雄



市民の皆様、明けましておめでとう
ございます。輝かしい新春を迎えるに
あたり、宇治市議会を代表し、謹んで
新春のごあいさつを申し上げます。
「地方の時代」と呼ばれた八十年代
も折り返しを迎えた今日、国における
行政改革の進行が地方財政にも影響
を及ぼしており、本市でも行政施策を遂行する上で、
厳しい対応を迫られております。この様な状況下にあ
つても、市民待望の宇治市文化センターや斎場の建設、
広野中学校の開校、更には京滋バイパスや近鉄大久保
駅高架事業の着工など、昨年は二十一世紀に向けた本
市の都市基盤整備が、着実に現実のものとなつてきて
います。
市議会といたしましても、活力ある宇治市づくりを
めざし、池本市長とも連携を保ちながら市民の皆様の
意向を十分に踏まえ、心を新たにしていより一層の努力
を傾注して参る所存でございます。
今後とも、格段のご支援とご協力をお願い申し上げ
ますと共に、市民の皆様のご健康とご多幸を祈念して、
新年のごあいさついたします。

宇治市長 池本正夫



市民の皆様、明けましておめでとう
ございます。
私は、昨年十二月の市長選挙で再選
され、本市が更に発展するための重大
な責務の一翼を担うことに、改めて身
の引き締まる思いをいたしております。
本市の当面の重点課題は、六十三年
京都国体成功举办することです。このため、道路・交
通網の整備などの条件整備を積極的に進める必要があ
ります。また、人口の高齢化・高度情報化の進展など、
社会の変化に対応した諸施策を推進していく必要もあ
ります。昨今の地方自治体の財政状況は非常に厳しく、
本市でも経常経費の節減に努めると共に、実施計画に
基づく計画行政を推進して参りました。今後も長期的
展望の下に、より効率的な行政運営に努める所存です。
これからの本市発展の方向は、恵まれた歴史的・自
然的環境と整備された都市施設の中で、新しい地域社
会が形成される町づくりであると考えます。
私は、これらの実現をめざし全力を傾注して参る所
存です。今後とも、市民の皆様の一層のご支援とご協
力を賜りますようお願いいたします。

新年のごあいさつ

しい地域社会

自己に勝つ

ソウル五輪をめぐす女子陸上長距離

かしわぎ・ちえみさん。「長距離は、練習の成果が顕



豊かな歴史と自然環境に恵まれた宇治市も近年は都市化傾向が著しく、次第にその姿を変えようとしています。特に、各種公共施設を順次整備し、63年京都国体に向けての道路網整備を進めている今、着実に大きな飛躍への足掛かりを固めてきています。また、昨年12月には向こう4年間の市政を担当する第10代宇治市長が決まりました。そこで新春にあたり、5人の市民の皆さんに登場していただき、今年の抱負と新市長への希望をお聞きました。



池本正夫市長が初登庁

昨年12月9日の宇治市長選挙で再選された池本正夫市長が、12月20日午前10時に、第10代宇治市長として初登庁しました。

池本市長はこれの中で、「多くの皆さんからご支援を得て、第10代宇治市長に当選させていただきました。当面の重点課題である63年京都国体の成功に向けて、都市基盤の確立を図るとともに、計画行政を推進し、21世紀を展望した町づくりを進めたい」とあいさつしました。（写真は、多くの市民に迎えられ初登庁した池本市長）



はたち 20歳に旅立つ

斎藤 寛さん（20歳）
学生

同志社大学工学部に籍を置き、勉学に多忙な中を、十八人の委員を率いて成人式の実行委員長を務める、さいとひろしさん。「ことは従来の、成人の日

を期待しています。若者の立場から、町づくりについて一言……。近年の宇治の町の発展には、目覚ましいものがあると思っています。ただ、現時点では、若者が集まり楽しめる要素が少ないので、これからひとつ若者の感性に訴えるような町づくりを考えていただけたらと感じています。

の集い」を、宇治市成人式」と改称しました。これは二十歳を人生の一つの節目としてのより明確な自覚を持ち、このセレモニーが、個々の人生の新たな旅立ちへの切っ掛けとなってくれたらという考えからです。その意味を込めて、サブタイトルは「ザ・セカンド！ プロローグ」と名付けています。素晴らしい二十歳の旅立ちに多くの仲間の参加



育てよう新



未来を拓く

江口 友信さん
(36歳)
農業

明日の農業は後継者の手で、燃える。横島農業青年クラブの代表を務める、えぐち。

ともものぶさん。
「横島町三軒屋地区では、こ
こ五、六年の間に農家の後継者
が増えてきました。ところが、
親同士は心安いのに息子の代に
なると顔すら知らない。これで
はだめだと言うことで、横島農
業青年クラブ」を結成した訳で
す。今は、懇親に重点を置いて
いますが、将来は、地域の農業
経営などの力となれるようなク
ラブに育てたいと考えています。
押し寄せる都市化の波に、私
たち農業家の後継者は、少な
からず生活不安を感じています。
親たちが手掛けてくれた特産
のフキ栽培を大切にしながらも、
これに続く新しい特産品を見い
だすことが、今後の課題のひと
つでしょう。

培われた農業を継承し未来を
拓く、これが次代を担う私たちの
生きる道だと思っています。



柏木 千恵美さん
(24歳)
会社員

離れていま、マラ
ソンの逸材として
注目されている、

著に現われるので好きです。四
二・一九五〇のレースに費やす
スタミナと精神力は、全て練習
の積み重ねで得られるものです。
だから、雨の日も雪の日も欠か
さず、毎日三十、程度走ります。
宇治の街は、適当な起伏があ
り練習環境としてはまずまずで
すね。でも、歩道と車道の区別
が無い個所が多いので、車には
かなり神経を使います。これは
しかたがないと思いますが……。
ことは、タイムを二時間四十
十分台から二時間三十分台に必
ず縮めたいと思っています。記
録を更新するのは自己との苦し
い戦いですが、とにかく毎日走
っていれば必ずできると信じて
います。まずは、一月に開かれ
る大阪女子マラソンで好成績を
納めるのが目標です。



着実に歩む

西山 雅章さん
(37歳)
自営業

地域の生活に密
着した書店をめざ
して家業に励んで
おられる一方、宇
治商工会議所青年

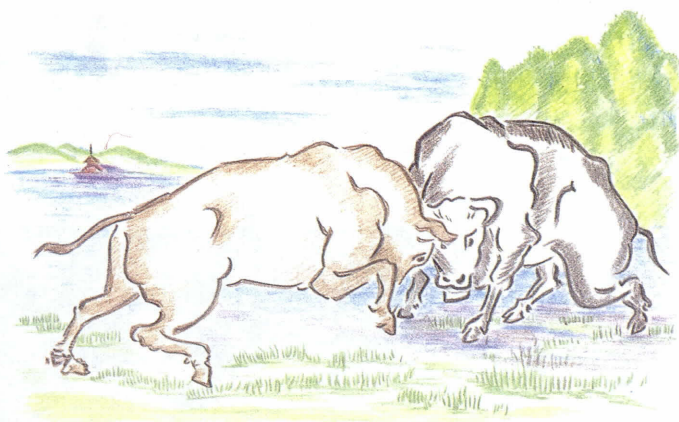
部で活動されている、にしやま
まさあきさん。
「子どもたちが、数多くの本
の中から良い本に出会えるよう、
児童書に力を入れています。ま
た、読んでいただきたい本をで
きるだけ多く取りそろえるよう
努めています。
ことしの干支は「牛」。これ
にちなんで、牛の歩みのように
ゆっくりに、牛の歩みのように
着実に進めたいと思っています。
人との出会いを大切に、他
人から学ぶことで、自分の幅を
広げていけるような年にしたい
と思います。
総合計画に基づき公共施設が
整備されてゆく中、魅力ある町
づくりには、いま世代を引き継
ごうとしている三、四十代の積
極的な参加と提言を行政に反映
する体制が必要だと思います。」

人の和を学ぶ

湯浅 芳子さん
(51歳)
主婦

主 婦

お役に立っている
でしょうか。
ことは、人の
和を学び、仲間と
の結束をより確かな
ものにしたと思っています。
また、私個人では図書館に置く
点訳書籍を本格的に手掛けたい
と思っています。
福祉の中核としての総合福祉
会館が、さらに有効利用される
よう願っています。例えば、交
通の便の整備や催し物の企画な
ど、地域のすみずみのお年寄り
や障害者たちが、気軽に来館で
き社会参加できるように運営し
ていただきたいと思います。」



ふるさとむかし話

33

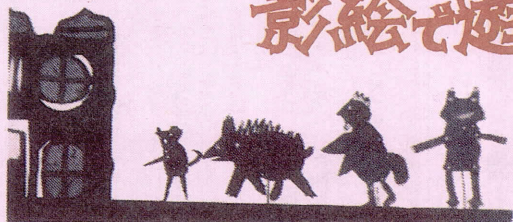
富右衛門の白茶牛

むかしむかし、宇治川のは
とりに富右衛門という貧しい
農夫が住んでいました。富右
衛門は、白茶色の子牛を飼っ
ていましたが、その牛はあま
り丈夫ではなく、いつも病氣
ばかりしていました。
富右衛門のお嫁さんは、信
心深い人でしたから、この子

牛をつれて三室戸の観音さま
に月参りをするようになりま
した。牛が早く元気になって
野良仕事に役立ってくれるよ
うにと、お祈りするのです。
お坊さんたちも、毎月やって
くる子牛をかわいがって、観
音さまのお守り札を、頭や首
に結びつけていました。

熱心なお祈りが通じたのか
子牛は日に日に元気になり、
やがてよく働く立派な親牛に
育ちました。富右衛門夫婦は、
これも観音さまのおかげだと
たいそう喜びました。
そのころ、八幡の里に住む
権兵衛という人が、大きな黒
牛を飼っていました。この黒
牛は力が強く、権兵衛はそれ
が自慢で、おれの黒牛と角突
き合い（ちから比べ）をして
勝った牛には、百貫文（昔の
お金の単位）の賞金をやろう
と云うのです。
このことを聞いたあちこち
の牛飼いたちは、自分の牛を
権兵衛の黒牛に挑戦させまし
たが、どの牛も勝てません。
権兵衛の鼻は、ますます高く
なるばかりでした。
ある晩、富右衛門は不思議
な夢を見ました。夢の中に自
分の白茶牛が出てきて、「観
音さまが角突き合いをせよと
言われるので、私に黒牛と勝
負させてください」と、たの
むのです。次の晩も、その次
の晩も、富右衛門は同じ夢を
見ましたので、「これは観音さ
まのお告げにちがいないノ」
こう信じた富右衛門は、自分
の牛を権兵衛の黒牛と戦わせ
ることにしました。
勝負は、あつという間につ
きました。富右衛門の牛が、
権兵衛の黒牛に突き勝ったの
です。富右衛門は、約束の賞
金をもらって豊かになりました
が、いつまでも観音さまと
牛のおかげを忘れずに、よく
働いたということです。
（歴史資料館）

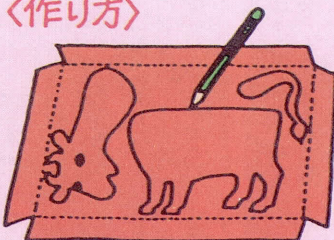
影絵で遊ぼう



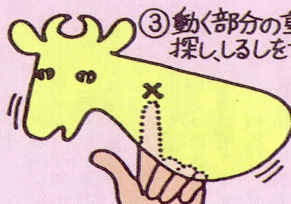
〈用意するもの〉

ボール紙でできた空き箱、割りばし、色セロファン、
カッターナイフ、糸、輪ゴム、接着剤、割りピン

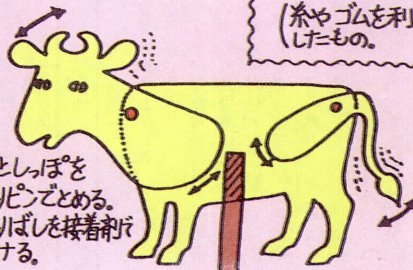
〈作り方〉



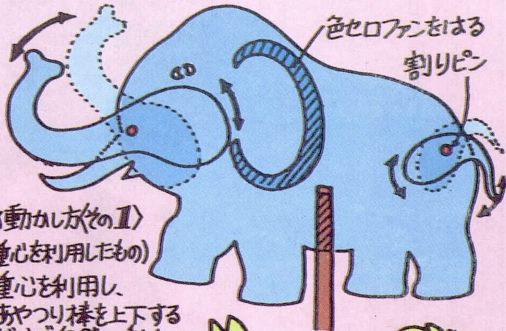
- ① 空き箱に左図を描く。
動く部分を別にする。
- ② カッターナイフで切り
取る。



③ 動く部分の重心点と
探ししるしをつける。



- ④ 頭としっぽを
割りピンでとめる。
割りばしを接着剤で
つける。



- ★動かしかた①
(重心を利用したもの)
重心を利用し、
あやつり棒を上下する
だけで自然に動く。

- ★動かしかた②
(糸やゴムを利用
したもの)。

